



## 「りんごランドは子どもファースト」



- かつの校が「りんごランド」に取り組んでから、今年で11年目になります。アップルサポーター（子どもたちに本物の体験やプロの技を提供してくれる人）である二人のりんご名人の指導の下、全校縦割り活動として実施しています。これまでりんごランドで収穫したりんごは、ジュースに加工して販売したり、アップルパイを作って収穫感謝祭を開催したりしました。また、地震で被災した岩手県や熊本県の特別支援学校にプレゼントして元気付ける活動も行ってきました。
- 今年度は子どもたちがより主体的に「りんごランド」に関われるように、アンケートを取りました。

○りんごのパンケーキを作りたい ○りんごクッキーを食べたい ○りんごのシャーベットを作りたい ○りんごのアイスを食べたい ○りんごジャム作りに挑戦したい ○自作のエネルギードリンクを作ってみたい ○りんごの実に絵を描く ○りんごシャツを作りたい  
○青いりんごにしたい！ ○りんごの歌を作る ○地域の人にプレゼントしたい(多数)  
○リンゴレンジャーのイラストを付けたい！ etc.

「食べたい」、「作りたい」、「プレゼントをしたい」という意見が多くありました。その結果、今年度はりんごにリンゴレンジャーのイラストを付けて、地域みなさんにプレゼントをすることに決めました。

- 人は教えられたことはすぐ忘れますが、自分で気付いたり考えたりしたことはなかなか忘れないものです。また、人は他者から言われたことはやりたくありませんが、自分で決めたことは行動に移しやすくなります。ある学校で子どもたち自身がきれいに掃除をするようになってから、校舎を壊したり汚したりしなくなったそうです。「りんごランド」の活動を子ども主導に転換することで、教育活動は子どもが主役であり、子どもの自己選択、自己決定の大切さを再確認できました。リンゴレンジャーのイラスト付きのりんごを地域にプレゼントをするために、5月の摘花作業に続き、7月は袋掛け作業を行う予定です。これまで以上に子どもたちが主体的に仲間と協力しながら、「りんごランド」で活動することでしょう。



肩車で花摘み作業